

EA21

# 環境経営レポート

( 2024年 4月 ~ 2025年 3月 )



富山城

2025年 5月 30日



五本建設株式会社

# 環境経営方針

## 基本理念

五本建設株式会社は未来の子供たちが安心して生活できる地球を守るために全従業員が地球環境保全の必要性を認識し、継続的な環境負荷の低減に努め環境保全活動を推進します。

## 環境保全への行動指針

1. 電力、燃料の使用量を低減し二酸化炭素排出量の削減。
2. 廃棄物の3R（減量、再使用、再生利用）を推進する。
3. 全従業員が環境方針を周知し環境保全活動に取り組めます。
4. 環境に関連する法規制等を遵守します。
5. 水資源の節約
6. 水質汚濁防止、振動・騒音環境基準値を遵守します。

2022年 5月 11日

五本建設株式会社 代表取締役  
五本 弘行

## 組織の概要

社名	ごほんけんせつかぶしきがいしゃ 五本建設株式会社
住所	〒931-8454 富山市住友町15番21号
代表者	代表取締役 五本 弘行
TEL	(076)437-9191
FAX	(076)437-9198
創業	昭和 61年 4月
設立	昭和 35年 4月
資本金	2000万円
事業内容	土木工事業
許可番号	富山県知事許可(特-2)-第8324号
社員数	11名(男性 10名、女性 1名) 2025/05/30
平均年齢	56.0歳
完工高	令和 6年度 4億1千万円
環境管理 責任者	土木部 土木部長 新村 喜一

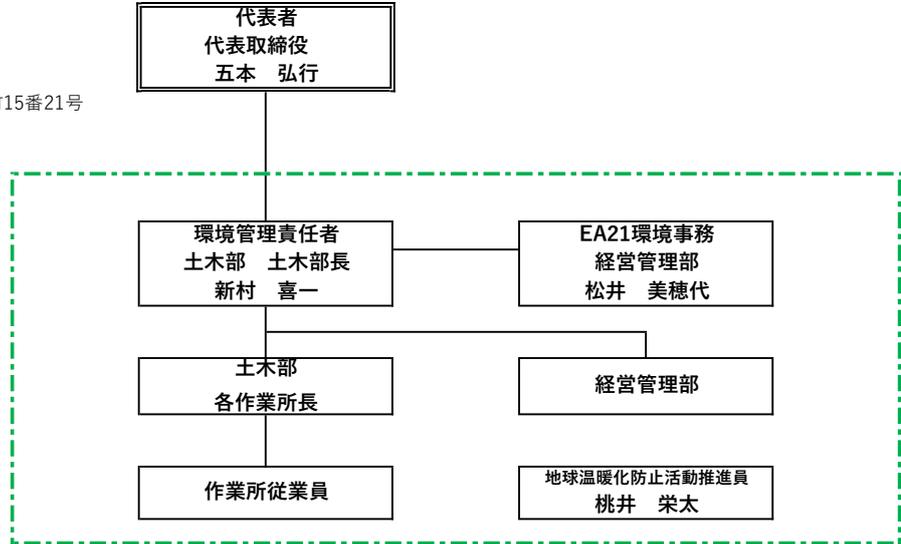
## 対象範囲

本社事務所 及び 各作業所(現場事務所)

期間は毎年度4/1～3/31で環境レポートの発行日は5月とする。

## 環境管理チーム

住所：富山県富山市住友町15番21号  
 関連事業所：なし  
 活動：土木工事業



	役割 ・ 責任 ・ 権限
代表者（社長）	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境経営に関する統括責任</li> <li>環境経営システムの実施及び管理に必要な人、設備、費用を用意</li> <li>環境管理責任者を任命</li> <li>環境方針の策定・見直し及び全従業員へ周知</li> <li>環境目標の設定を承認</li> <li>代表者による全体の評価と見直しを実施</li> <li>環境活動レポートの承認</li> </ul>
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境経営システムの構築、実施、管理</li> <li>法規制等の要求事項登録簿を承認</li> <li>環境活動実施計画書を承認</li> <li>環境活動の取組結果を代表者へ報告</li> <li>環境活動レポートの承認確認</li> </ul>
環境事務	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境経営システムの事務</li> <li>環境への負荷・取組の自己チェックを実施</li> <li>環境関連法規等チェックリストの作成</li> <li>環境目標・環境活動実施計画書原案の作成</li> <li>環境活動実施計画の実績集計</li> <li>環境関連の外部コミュニケーションの窓口</li> <li>環境活動レポートの作成、公開</li> </ul>
部門長 各作業所長	<ul style="list-style-type: none"> <li>自部門における環境経営システムの実施</li> <li>自部門における環境方針の周知</li> <li>自部門の従業員に対する教育訓練の実施</li> <li>自部門に関する環境目標及び環境活動計画の実施及び達成状況の報告</li> <li>自部門の問題点の発見、是正、予防処置</li> </ul>
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> <li>E A 21について決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動に参加する。</li> </ul>

## 環境経営目標とその実績 (2024年度)

2023年度の実績を基準値とし見直しを行いました。

環境目標項目	単位	基準年度		今年度		中期目標
		2023年度	2022年	2023年	2024年	2025年
		基準値	目標 実績	目標 実績	目標 実績	目標 実績
二酸化炭素総排出量	kg-co2	44524.8	57618.5 70506.0	69800.9 44524.8	44079.6 29983.0	43634.3
		100%	92% 112.6%	99% 63%	99% 67%	98%
電力使用量削減	kg-co2	6336.0	8320.3 6677.0	8229.9 6336.0	6272.6 6548.0	6209.3
		100%	92% 73.8%	91% 70%	99% 103%	98%
ガソリンの削減	kg-co2	23548.0	13437 24022.0	23781.8 23548.0	23312.5 11185.0	23077.0
		100%	92% 164.5%	99% 98%	99% 47%	98%
軽油の削減	kg-co2	14198.0	35861.1 39807.0	39409.0 14198.0	14056.0 12250.0	13914.0
		100%	92% 102.1%	99% 36%	99% 86%	98%
一般廃棄物の削減 (紙)	k g	208.0	226.3 150.0	223.9 208.0	205.9 122.0	187.2
		100%	92% 70%	91% 85%	99% 59%	90%
産業廃棄物の削減 (コン・As)	t	1414.8	1101.7 974.31	1089.7 1414.8	1400.7 473.3	1273.3
		100%	92% 81.4%	91% 118%	99% 33%	90%
水使用量の削減	m3	90.0	82.8 84.0	83.2 90.0	89.1 86.0	88.2
		100%	92% 93.3%	99% 107%	99% 96%	98%

※1. 化学物質は使用していません。

※2. 購入電力の排出係数は、0.481(kg-CO2/kwh)です。北陸電力(株)  
北陸電力(株)2023年調整後の排出係数。

※3. すべての項目の基準年度を2023年度の実績に見直した。

## 環境経営計画（2024年度）

取組目標	活動項目	責任部門・責任者
電力の削減 (-1%)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・節電運動展開</li> <li>・不要照明の消灯</li> <li>・ウォームビズ、クールビズ運動</li> <li>・不能率残業の撤廃</li> <li>・工程ロス削減による稼働時間短縮</li> </ul>	本社事務所 経営管理部 松井 土木部 佐伯 土木部 作業所 各作業所長
自動車燃料の削減 (-1%)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・エコドライブを徹底する</li> <li>・運転経路の一定化</li> <li>・冷暖房の控え目使用</li> </ul>	土木部 石坂
重機燃料の削減 (-1%)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アイドリングストップ</li> <li>・エンジン回転数を抑える（MAXの80%）</li> <li>・冷暖房の控え目使用</li> <li>・重負荷を連続しない</li> </ul>	土木部 清水
一般廃棄物の削減 (-1%)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・裏紙使用、ミスコピーの防止</li> <li>・控書類の削減</li> <li>・書類の電子化を促進する</li> </ul>	経営管理部 松井
産業廃棄物の削減 (-1%)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・工程ロスの削減</li> <li>・設計施工範囲の確認</li> </ul>	土木部 水野 各作業所長
水道水の削減 (-1%)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・節水運動</li> <li>・作業所の節水を徹底する</li> </ul>	経営管理部 松井 各作業所長
地域とのコミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ゴミ清掃等による美化活動</li> </ul>	土木部 作業所 各作業所長

( )=基準年度比

## 結果と評価・今年度・次年度の取組

環境目標項目	基準年（2023年度） 実施年24年度（24年4月～25年3月）			
電力使用量削減	結果	基準年度比-1%のところ+3%		
	評価	猛暑と厳冬によるエアコン消費量の増加が影響していると思われる。 次年度も継続してウォームビズ運動・消灯・節電に取り組む。		
	今年度取組	クールビズ・ウォームビズを継続。	次年度取組	スイッチOFFを徹底
ガソリンの削減	結果	基準年度比-1%のところ-53%		
	評価	社員の減少、現場までの距離が近くなったことによりガソリン使用量が減少している。次年度も継続してエコドライブ活動(eスタート・アイドリングストップ・タイヤの空気圧のチェック等)に取り組む。		
	今年度取組	エコドライブ活動を継続する。	次年度取組	エコドライブ活動を継続する。
軽油の削減	結果	基準年度比-1%のところ-24%		
	評価	工事内容の変化により重機の使用頻度が減少したため、軽油使用の削減になったと思われる。		
	今年度取組	エコドライブ活動を継続する。	次年度取組	エコドライブ活動を継続する。
一般廃棄物の削減 (紙)	結果	基準年度比-1%のところ-41%		
	評価	裏紙の再利用や、ミスプリントの防止、不要なコピーの減少に努め書類の電子化を周知してペーパーレス化に努めた。		
	今年度取組	データ保存の電子化を進め紙の使用を抑える	次年度取組	電子化の推進を継続する。
産業廃棄物の削減 (コン・As)	結果	基準年度比-1%のところ-67%		
	評価	受注工事の減少と工事内容の変化により産廃処理が少ないと思われる。		
	今年度取組	エコ活動を引き続き実施する。	次年度取組	エコ活動を引き続き実施する。
水使用量の削減	結果	基準年度比-1%のところ-4%		
	評価	社員や協力会社に節水活動の協力をお願いして削減に努めた。次年度も継続して節水活動に取り組む。		
	今年度取組	節水活動の継続	次年度取組	節水活動の継続。

## 環境関連法規等の取りまとめ

- ・ 廃棄物処理法 (収集運搬・処理業者との契約書・許可証写しの保管)  
(マニフェストの交付・回収・照合・保管 :5年間)
- ・ 富山市公害防止条例 (特定建設作業実施届出書 振動・騒音)
- ・ 建設リサイクル法 (再生資源利用計画書・実施書)  
(再生資源利用促進計画書・実施書)
- ・ 家電リサイクル法 (特定家庭用機器の排出：自治体の指定方法で行う)
- ・ フロン排出抑制法 (業務用空調器の点検)
- ・ 自動車リサイクル法 (社有車の適正処分)
- ・ 消防法 (消火器の点検)
- ・ 下水道法 (下水道の使用)

- ・ 環境関連法規への違反はありません。
- ・ 関係当局よりの違反等の指摘及び訴訟はありません。

## 代表者による評価と見直し結果

令和 7 年 5 月 26 日  
代表取締役 五本 弘行

### 評 価

24年度の環境保全活動は、本社事務所、全作業所で活動が行われている。  
猛暑と厳冬によるエアコン消費量の増加により、電気使用量がオーバーしたが、健康面で負担がない上で引き続き本社及び各作業所で継続的に全体のエコ活動を行っている。

### 見 直 し

気候変動による未達成の部分が大きいので目標の見直しはしない。  
次年度もすべての項目の基準年度を前年度に変更する。